



資源集団回収を知っていますか？その1



キレイコン (キ)



クリンちゃん (ク)

ク： ねえキレイコン、昨日うちの物置を片付けたら、新聞とか雑誌とか、ダンボールがいっぱい出てきたんだけど、市では収集してくれないみたいだし、どうやって捨てたらいいの？

キ： それは捨てるんじゃなくて、リサイクルできるんだよ。資源集団回収って知ってる？

ク： 資源集団回収？？

キ： 町内会や自治会、PTAなどの実施団体が、家庭から出る古新聞・古雑誌・古着などを、資源回収業者に引き渡してリサイクルしているんだ。

ク： うちの近所でもやっているのかなあ・・・

キ： 市内のほとんどの地域でやっているみたいだけど、わからないときは環境局に問い合わせれば近くの実施団体を教えてもらえるよ。

ク： へえ、そうなんだあ。この資源集団回収でリサイクルされている古紙類って、川崎市全体ではどのくらいあるの？

キ： ・・・。

平成16年度の資源集団回収量は、市全体で約52,000トンありました。

これは、市内から出る**ごみの総排出量の約1割**に相当します。

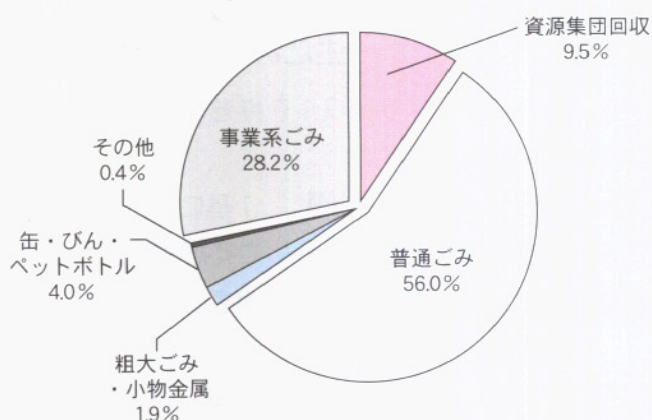
市内のごみ排出量	549,883トン
資源集団回収量	52,221トン

市民の自主的なリサイクル活動である資源集団回収は、焼却処理するごみ量の減量化・埋立処分場の延命化にもつながります。

ごみの減量・リサイクルを推進するため、市では資源集団回収の拡充に取り組んでいます。
3Rニュースでは、今後、この取組状況についても紹介していきます。

※ 資源集団回収について、「ごみ・リサイクルに関するホームページ」(裏面参照)からご覧になれます。

●ごみ総量に占める資源集団回収量●



●回収量の推移●



キ： ごみの中の1割も占めているなんて、資源集団回収は大切な活動なんだね。

ク： リサイクルできるものを捨ててしまうのはもったいないから、わたしも資源集団回収を利用して、古紙類のリサイクルに協力しようっと！